科目ナンバリング	U-LAS06 10007 LJ43						
授業科目名 <英訳>	経済学Ⅰ Economics I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 川﨑　兼人		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この科目は，経済学の立場のひとつである「政治経済学（Political Economy）」の理論内容や方法論について説明・考察することを目的とする。政治経済学とは，近代の経済社会を歴史的動態性をもった再生産システムとして捉えようとする試みであり，その分析の中心には「資本主義」という概念が据えられる。この科目で扱うのはその中でも古典的な範囲の議論であるが，「資本主義」という社会的対象を客観的に理解しようとする学問的営為の根元を改めて学ぶことの意味はけっして小さくない。

学期の前半ではアダム・スミスらに代表される古典派経済学からカール・マルクスの学説までの展開について，経済理論の側面のみならず思想の側面もふくめて解説する。後半では，宇野弘蔵という日本の経済学者の議論を参照しながら，主にマルクス経済学の構造や問題点などについて考察する。

[到達目標]

資本主義社会に対する体系的分析の歴史をふまえて自分自身の見解を形成できるようになること。

[授業計画と内容]

第１回　導入的説明
第２回　重商主義
第３回　古典派経済学(1) その時代
第４回　古典派経済学(2) アダム・スミス
第５回　古典派経済学(3) デイヴィッド・リカード
第６回　カール・マルクス(1) 初期・哲学
第７回　カール・マルクス(2) 中期・史的唯物論
第８回　カール・マルクス(3) 後期・『資本論』その１
第９回　カール・マルクス(4) 後期・『資本論』その２
第10回　カール・マルクス(5) 後期・『資本論』その３
第11回　宇野弘蔵(1) 概論
第12回　宇野弘蔵(2) 価値論と恐慌論
第13回　宇野弘蔵(3) 社会主義と経済学
第14回　宇野弘蔵(4) 方法論の諸問題
試験日
第15回　フィードバック（方法および内容は未定）

[履修要件]

特になし

経済学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

経済学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

定期試験によって成績を評価する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

講義資料や書籍に目を通して予習・復習すること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]